

別患養やこころは位階もつらて後をばは
わくゆひとせぬもむらへて無道非併成
建立とも程の需福を絶ぬ人とも成すべ
後本坊重源法師と高進も一紙すれども
再のとりわくハ世せそハサの樂はほこ
あきそせいりせ人運花のよもた人ゆか
睡を教白と天とひちちと後上そり

因に人々用をさす

器を形てきりきり

あつは通り久

雨りの

いふ割り

ゆきとあそ

上

そハ我君とあやむるハ

乃は流流見りわと皆一個もまゆ

い

あつはあつてまを一様をねいよそわは割り

をきりわそまねとそ

いもはあそり

あつてい さいいよそりあそ

いふ 少人

ら度とひとや見よ付くとんくふたれどもそ
異徴奇 異 わやしめふね而しと女をふ
いさたふれくび少敷の人をうらふさうそ
園水と折と心あふるのほとのまよ

面白くおまよく金とうえては海ひうら
ぬあのみまろえきり世ゆきいさるまひと
まづふ元来女をうへに張の花信毎正年ま

時の和歌是なる山水の落てあふゆきと

よ
鳴ハ滝の水 鳴 先達り歌ふあといひと内す

一石をいり い 浮わたるえき一内りあふ

鳴る水 鳴 鳴る滝をいり 目をあつと

そとひいぬまをまるととつてう疾くして

もあつらふああゆきをね園ちの人とあつて

まづうらとてあつとあつらふああゆきをね園ちの人とあつて

とゆふ其地のり成道する人死して後
國へそとてくる

下掛謠本者寶永之初上梓以來雖頒行
於世其誤不少欲改正之不得正本久而
不測羅明和之災梓乃灰燼今也幸得專
門之佳本悉加改正再命剞劂庶幾廣之
萬世云

安永五丙申歲

東都書林

日本橋新本町四丁目

戸倉屋喜兵衛

須原屋茂兵衛

泉源書林

日本書影

余益書共附

日本書影

安永五丙申歲

萬世云

門之卦本悉收此五再命師國秘幾盡之
不勝難即响之及轉代及數今由章對書
然由其照不也然此五之不計五本六而
不憚謫本芥實亦之時上轉以朱耶能許

